

北信地方の天気予報は一時雨。空模様を気にしながら北小谷へと向かいました。途中でパラパラと雨が舞った時もありましたが、「道の駅おたり」に着くころにはその心配もなくになりました。新緑の爽やかな風の中、姫川の支流土沢川を横手に見ながら、紫の藤の花やピンクの空木(うつぎ)の花が咲き誇る細い道をガタガタと揺れながらバスは登って行きます。



高原でハイ・チーズ!

遠くには大渚山(おおなぎやま)や雨飾山(あまかざりやま)を望み、昔は牧場だったという目的の地がよいよ近づいてきました。いざ高原ウォークへ!! 皆さんはワラビ林を見た事がありますか?まさにそこには人間の膝ぐらいから

北小谷高原 Walk

中には腰ぐらいまでのワラビが、座って採れるぐらいに一面に出ていました。

夢中になってワラビを採っていると、目の前にタチシオデがよつきり(山菜の女王)という人もいます。ラッキートばかりにそれを探ると、あとはワラビそっちのけで探しましたが残念ながら他には見つかりませんでした。ガイドの人によるとこの辺にはシオデは稀で少ないとのこと。その場でおいしくいただきました。天然のアスパラガスといわれ、風味も似ています。



長元坊 チョウゲンボウ

早朝ウォーキングをするのには気持ちのよい季節です。晴れた日の朝の空気は爽やかで気持ちが良い。家を出るとすぐに何人もの人と出会うことができます。すでに昇っている太陽の光を浴びて、みんな姿勢良く早足で歩いていきます。

歩くコースはその朝の気分を決めます。北へ向かってなららかな坂道を進むと、昔は果樹園や畑が広がっていた辺りには多くの家が建ち、それぞれの家の玄関脇や道路端のプラントーには季節の花が咲き乱れています。ま

た、松本測候所の跡地が公園になっている場所を見渡した時、授業で測候所の見学に来た遙か昔の小学生の頃が思い出され、改めて過ぎ去った時の流れの速さを感じずにはいられませんでした。

南にコースをとった時は、なるべく広い道路を避けて、普段は通らない小路を抜けて、車の入らない裏通りの景色などを見ながら、そろそろ目覚める時間になった市街地を歩いて行きます。

コースの途中にある「鯛萬の井戸」や「女鳥羽の泉」、「東門の井戸」などで、家の水と一味違う湧水で喉を潤し、

かんたん体操コース

簡単・優しいをテーマにした体操講座が毎月第4木曜日を基本に開催されています。

講師の鈴木先生はNP〇法人CFM実行委員会のインストラクターです。

軽快な音楽に合わせて、イスに腰かけたまま手足を上下左右に動かしますと自然に体全体が動いていきます。また、動く組み合わせを変えると頭も使い、脳トレの指導もしていただきます。

鈴木先生はラジオ体操の資格もお持ちで、体操の動作一つ一つ解説していただきます。

例をあげますと、手を上げて腰を回すときに手を耳にぴったり付けると腰が良く回るそうです。そうお聞きすると、今まで自分は手ばかり回していました。何十年もラジオ体操をしていましたが、目からウロコの個所が多々ありました。参加して本当によかったと思います。皆さんにもお勧めします。(A・S)



かんたん体操コースの様子

令和3年度

中央地区町会連合会 町会長紹介



いつの間にか建っている高層マンションを眺めたり、空き地になる前はどんな家が建っていたのかなど、街路に面した建物の移り変わりを話し合いながら往時を偲び、3、40分のウォーキングは終了となります。

松本城公園にはすでに20人位の人達が集まっており、マスクを着用したままでソーシャルディスタンスをとって、これからラジオ体操が始まります。(T・K)

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|---------------|----------------|---------------|------------------|---------------|--------------|--------------|----------------|----------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 大 高 宏 (上土町) | 藤 村 吉彦 (緑町) | 望 月 益榮 (小柳町) | 長 谷 川 均 (大名町) | 出 井 健二 (南土井尻町) | 栗 田 幸一 (土井尻町) | 宇 留 賀 昭夫 (北土井尻町) | 奥 田 正男 (二ノ丸町) | 山 本 文彦 (西堀町) | 小 出 忠雄 (六九町) | 赤 羽 郁夫 (今町一丁目) | 青 木 康治 (今町二丁目) | 野 村 長司 (松栄町) | 中 田 充 (鷹匠町) | 竹 内 和正 (丸の内) | 中 村 恭平 (天柳町) |
|-------------|-------------|--------------|---------------|----------------|---------------|------------------|---------------|--------------|--------------|----------------|----------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
- (◎)会長 (○)副会長

町会紹介
大名町

大名町の今昔そして未来

ごく最近になって改めて「三の丸」という言葉が広く認知されるようになり

ましたが、それまでの長い間ひたすら経済成長に目を奪われ、先人達が刻み紡いできた歴史になど大して気を配る暇もなく、現代を迎えてきました。

改めて「松本城の範囲」をおさらいすると、

「本丸」、「二の丸」、「三の丸」が松本城内と定義されています。歴史的には明治初頭の廃藩置県以降は、かつての高級武士の屋敷が大名小路(現大名町通り)を挟んで西側に六軒、東側に四軒という広大な区画を活用した役所・学校・市民館・消防署・郵便局など公共性の高い施設として誘致されました。その後の昭和の高度成長期には民間の銀行・保険会社・製薬会社などが連なる県下有数の「企業城下町」に衣替えをしました。平成時代前後になると、企業の統廃

合などで企業城下町にも陰りが見え始め、高齢化・少子化を伴いながら車会社の弊害などによる市街地の空洞化に歯止めがかからないまま現在を迎えています。

そうした状況を踏まえ、未来に向けて改めて松本が有するポテンシャルを掘り起こそうと新リーダーとなる新市長の下で、このほど大名町通りの道路整備も含む「三の丸エリアビジョン」の策定に取りかかっています。

大名町町会長 長谷川 均



千歳橋から松本城方面を望む
(昭和42年)



現在の大名町通り
(令和3年6月撮影)



将来のイメージ

※あくまでイメージです。人で賑わう通りになってもらいたいと思います。

「松本市次世代交通政策実行計画」より抜粋

中央地区の樹木⑥

コデマリ

コデマリとはテマリバナ(オデマリ)の小形の花というのでつけられた。別名をスズカケともいい、中国に自生する植物で、わが国への渡来は古い。庭園によく植えられるほか、切り花としても需要が高い。

高さ1.5〜2mになる落葉性の低木である。枝は地ぎわから数多く直立し、上方で分岐する。先端は垂れて茂みになる。枝は細長く、葉は互生して小さい。開花期は5月頃で、前年の枝から多数の短い側枝をだし、その頂部に小さい白色花を10〜20つける。前年の枝の全面にわたって、白色の「てまり」状の花がつくので美しい。

引用：岡本吉吾著『標準原色図鑑全集第7巻』

写真は松本城公園内のコデマリ。立派な姿でお城を眺めている。



コデマリの花

令和3年度

公民館委員紹介

◆運営委員

大倉みつえ

北原 正嗣

高木 健

中田 俊雄

野村 長司

藤村 吉彦

増田 博志

望月 益榮

吉崎 麻樹

◆図書・視聴覚委員

小笠原友信

久保田忠史

◎中田 充

輪湖弥之助

◆文化委員

赤羽 由佳

出井久美子

大石 君子

奥田 正男

竹内 和正

中田 善雄

◎長谷川 均

桃井 栄一

◎吉崎 麻樹

◆体育委員

◎青木 康治

大鷲 宏

◎望月 益榮

◎委員長

◎副委員長

川久保 潔

栗田 幸一

高野 和子

中田 充

藤田 久夫

藤森 典人

箕輪 徹朗

山本 文彦

神山 英夫

栗田 幸一

増田 博志

安藤ふ志江

宇留賀昭夫

大鷲 住子

林部 秀子

多湖 佳子

中村 恭平

丸山 泰

矢ヶ崎紀子

赤羽 郁夫

出井 健二